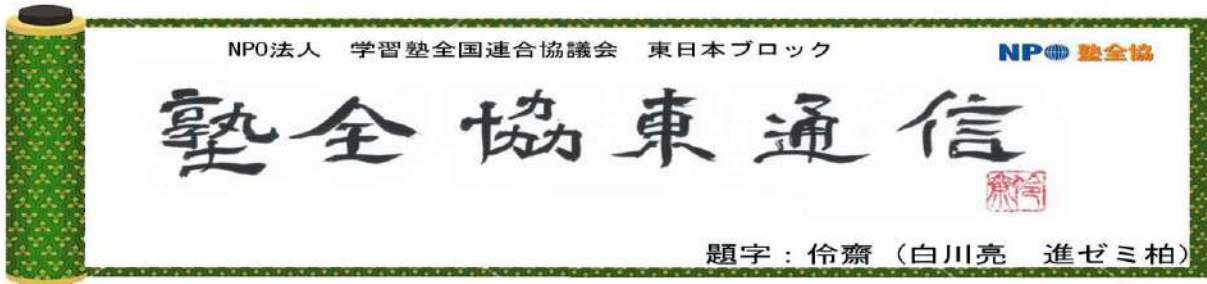


2021年12月



NPO 塾全協 全国研修会

日時：2021年11月5日（金）10:30~13:00

場所：Web上（ZOOM）

テーマ：1『新しい英語指導 塾はどうする？』

※コーディネーター：菅井陽介氏（中央教育研究所）

2『オンライン教材展』

参加企業：サインウェーブ・文理・好学出版・中央教育研究所

参加者：22名

レポーター：中村基和

毎年文化の日あたりに実施されている NPO 塾全協全国研修大会は、昨年はコロナ渦のため中止、今年も対面式の大きな「大会」は無理と言うことで「全国研修会」という形でオンラインで研修会を実施することになりました。

【第1部】〔サインウェーブの澤井亮平氏講演〕



テーマ：英語指導の現状とこれからの英語指導

【概要】サインウェーブの目指していることは、AI×教育。当社は、音声認識/音声評価などのAI技術を持つIT企業で、開発及びコンテンツも自社開発している。また、教科書会社との共同プロジェクトも行っている。そして各種出版社との協業でアプリ等を開発している。

教科書改訂後、塾の先生の76%位は学校のテストが難しくなったと言っている。

先生方からよく聞くお悩み・・・

「**習得語彙数**と**文法事項の増加**に対応できていない・・・」

「**学校の指導**が先生や地域でバラバラ・・・」

「学校で全然**教科書**を使わない・・・」

「**リスニング**の**配点**が増えてきたが対策の仕方がよくわからない・・・」

↓ 菅井陽介氏



1.教科書改訂のポイントおさらい

- 1.単語 ・ 1200 語→**2500 語**に倍増
・ 文の単語数の増加
 - 2.文法 ・ **高校文法**が追加
 - 3.構成 ・ より Can-Do ベースになり、**発信型**タスクが増加
 - 4.その他 ・ **QR コード**の掲載
・ 中学校から**オールイングリッシュ**の授業
- 構成 ・ **ストーリー**重視
・ **タスク**ベース (Can-Do)

* New Horizon3 年の最後の課が 189 語から 294 語に増えている。入試に置き換えてみれば来年は 1.5 倍くらいになると想像できる。

2.入試はどう変わっていく？

- ・ これまでの試験：身に付けた**知識を確認する**
○文法 ○長文 ○リスニング ○ライティング ×スピーキング
- ・ これからの試験：身に付けた知識を使って、自分の**意見を表現する**
△文法 ☆長文 ○リスニング ○ライティング (○スピーキング)

単語が 1200 語から 2500 語に増えたので長文が難しくなるんじゃないかという声がある。

来年から、大学入学共通テストはリーディングと**リスニング**の配点が**1:1**になり、東京都立高校入試は**スピーキングテスト**が導入される。(英検 3 級か準 2 級程度かと)

都立高校の入試得点は調査書と入試の合計で 1000 点であったが、これにスピーキングテストの 20 点が加わり 1020 点満点になる。20 点違うと学校が 1 ランク異なる。

3.変化する入試への対策とは？

スピーキングやリスニングの特別な対策は、時間と人事のことを考慮に入れると‘コスパ’が悪い。

英語力の**底上げ**が重要

これからの英語指導



～毎日5分英語の**音声**に触れる～

- ・ 正しい発音が身につくことによって英語を**英語で理解する**ことで**処理速度**が上がる
- ・ 読むスピードが上がることによって長文で**ワーキングメモリ**で記憶出来る内容が多くなる。
- ・ **正しい区切り**で読める様になることによって**文構造**の理解がしやすくなる。

おさらい：英語学習の見直し

- ・ 小学校で英語が教科化 (**音声学習**中心・700 語)
- ・ 中学校教科書改訂 (**QR コード**追加・**オールイングリッシュ**)
- ・ 高校入試に**スピーキングテスト**が**長文**問題の単語数増、**リスニング**・**ライティング**の配点増など)

【第2部】 [オンライン教材展]



1. [文理] 粟野氏

01 '必修テキスト英語'について

必修テキストの大きな特徴は以下の4点

▶ 定期テストの得点アップ

多様な定期テストに対応できるよう、下位層～上位層向けに、教科書外の英文やレベル別の英作文など、幅広く問題を収録。

▶ 音声素材を充実

テキスト内での音声を充実。

音声はQRコードや専用サイトで再生可能。1倍速を基準に0.50～2.00倍速まで0.05刻みでスピード調整可能。

▶ サポートブック付属

各セクションごとに、単語・空所補充・整序・英作文など、確認テストや宿題に使える問題を収録。また、章末には本冊内“定期テスト得点問題”の補充問題を収録。

▶ テスト作成システム「らくプリ」

必修テキストご採用塾さまには、プリント作成システムを無償提供。(別途ご申請の必要あり)

02 定期テストについて

▶ 文法・単語問題

100点中50点程度の出題。文法問題は和文空補、整序作文などのオーソドックスな形式。単語問題は単純な意味⇔つづりの出題も多いが、絵や定義をもとに単語を答える問題も出題されている。

▶ ライティング問題

100点中15点程度の出題。バリエーションの増加や使用場面を想定した設問形式が見られる。和文英訳も出題されているが、イラスト付き問題、条件英作文、自由英作文なども多く見られる。

▶ リーディング問題

100点中15～30点程度の出題(学校によって配点差大きい)。教科書外の読解問題が増加傾向だが、学校教材ワークの長文引用も散見。

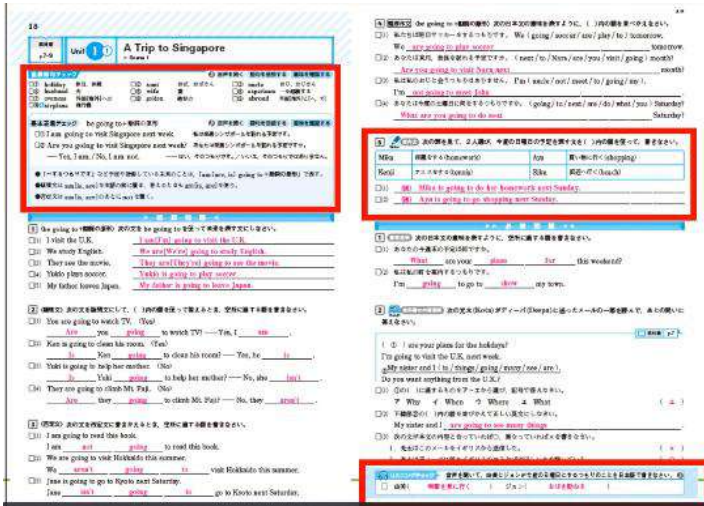
▶ リスニング問題

100点中20点程度出題されており、大問2～3問。学校教材ワークからの流用が目立つ。音声を使用するため、テストの最初か最後に出題される傾向。

*リスニング問題は今年度から必修テキストで採用。

03 必修テキスト 通常単元の各セクション

まず、単語の音声から確認して貰う。



右側ページにはライティング問題。定期テストでは学校教材ワークで使われている自己表現問題がそのままテストに出題されるケースがあるので、セクション段階から最も易しいライティングになれさせる。最後はリスニング問題。セクション段階から、基本表現のリスニング問題を収録している。

中1のテキストは4線がついているが、各教科書会社によって太さや間隔が異なるので、それも各会社に合わせてある。

04 単語・重要表現のまとめ

セクションで学んだ単語・重要表現をここでおさらいして貰う。従来は1ページで構成してあったが2ページにした。左側に確認問題、右側に練習問題。従来はセクションに載せてあった発音・アクセントの問題は、この右下に置いてある。



05 文法まとめ

基本表現には音声付き。確認問題と練習問題でレベル差をつけている。

06 定期テスト 得点 up 問題① (1, 2 ページ目)

学校のリスニング問題は指導書から出題される傾向がまだまだが多く、「イラスト問題」、「選択問題」、「記述問題」の3つのパターンで構成されているので、必修テキストでも同様に構成している。

07 定期テスト 得点 up 問題② (3 ページ目)

教科書内容での読解の問題と英作文。英作文は和文英訳の形で掲載している。

最後のページ(4 ページ目)には教科書にない初見の読解問題、英作文問題を載せてある。(上位層向け)

08 別冊サポートブック

09 らくぷり

テスト作成システム『らくプリ』搭載機能：

・ 一問一答プリント.....

①意味、②つづり、③空所補充形式のプリントをまとめて作成可能。

全て『中学必修テキスト』の単語・連語から出題。

▷こだわり設定：重要語のみでのテスト、問題数の設定、出題形式の設定。

・ 定期テスト対策プリント.....

①リスニング、②単語・連語、③文法、④読解形式のプリントをまとめて作成可能。

①④は『中学必修テキスト』の問題を改題、②③は『中学必修テキスト』からランダム出題。

▷こだわり設定：出題形式の設定

・ 単語・連語練習プリント.....

『中学必修テキスト』の「重要語句チェック」で取り上げた

単語・連語を書いて練習することが出来ます。

2. [好学出版] 前川氏

私も中学2年の息子がいる。今年の中学2年生は、指導要領改訂の世代でいうと一番かわいそうな世代と言われている。2018年に小5になって、小学校英語の教科化にあたった最初の世代で、文科省が教科書代わりに出した We Can を使って2年間は「教科」の外国語を勉強したことになっている世代である。その上小学校卒業前から中学に入った最初の1ヶ月半をコロナの一斉休校で完全に棒に振ってしまっていて、GWも終わろうとしているのに中学校から出ていた英語の宿題は、「アルファベットを書けるようにしましょう」だった。当然こっちは2020年からどんな教科書を使うか知っているのに、「この段階でそんなのやっついて間に合うの？」と凄くぞっとしたのを覚えている。今年の中2は今までより格段に難しくなった教科書で、途中からそれで勉強することになった世代である。オマケにスピーキングテストに最初に対処しいなくてはならない世代でもある。教材を作る側としては、そういう結構なハンディーを持っている子ども達にどう教材を渡すのか、子どもにとって一番良いやすい教材を作るというモットーで制作しているので、自分の子どもに渡すときに「他社さんのどの教材じゃなくて絶対新ワークを使ってください」「新ワークを使えば絶対定期テストに役立つし、力がつくから、絶対これを使えば良いのだ」と渡せるものを作ろうというのが、当社の編集部として取り組んだモットーである。

今回の英語の教科書改訂は、この40年で一番大きな教科書改訂になっている。何をどう学ぶかも根本的に異なっていると思っていた方が良い。自分たちが習っていた頃は「これを20回書きなさい」というように指導されていたが、今の単語量ではこれを無理強いすることは出来ない。生徒にとっては苦行でしかなくなってしまうし、気合いだけになってしまう。自分が習った方法でなく音声で覚える方向にシフトしていかなければならないと思う。新ワークでは「この単語は綴りを駆けるようにしなさい」「この単語は意味がわかれば良い」というように紙面に表示してある。

新ワークでは基本本文や単語のところに発音を聞いて盛るための音声をあえてつけていない。というのは今の教科書はQRコードで単語も本文も音を聞けるようになってきているので、学校の定期テスト対策では教科書の音声を聞くのがベスト。私たちの出版社で別に音声をつけようとするのとそれと別の物になっ



てしまい、生徒も混乱するのでつけない。新ワークでは問題演習に音声をつけてある。音声教材としてはサインウェーブさんのものに敵うものがないので、早くから協業させて貰っている。

英語が余り得意でなくて、新ワークが難しくて出来ない。もっと基本的なものをやらなければいけない生徒さんに対して、もっと解説を詳しくして欲しいとか、もっと基本的な問題を沢山載せて欲しいと言うご要望もあるが、そのときにはそうではなくて ELSP を使って教科書の文でリスニングとシャドーイングとディクテーションを徹底的にやられた方が絶対に力がつくと思う。

3. [サインウェーブ] 澤井氏

英語 4 技能アプリ ELST について

- スキルアップコース**
➢発音記号・単語・リスニング等12つの機能があります。
- 教科書コース**
➢中学校検定教科書5社に**完全準拠**しています。
- 試験[®]対策コース**
➢英検[®]対策や大学入学共通テスト対策ができます。
- CEFRコース**
➢自分のCEFRレベルを確認し、効率的な学習ができます。

↓教科書本文 (教科書会社が提供している音声付き) ↓訳

- * ロールプレイも出来る
- * 1文1文発音させ、点数が出てくる。色で自分のそれぞれの部分の発音の善し悪しがわかる。音声速度も変えられる。

* 教科書の音声を聞いて

いて穴埋めのディクテーションが出来る。

* 宿題配信が出来る。

* 英検の面接対策も出来る。

* 三省堂の辞書がそのまま入っているので、電子辞書としても使える。